平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 大戸屋ホールディングス　　上場取引所　東
コード番号 2705　URL http://www.ootoya.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 三森 久実
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役経営企画部長　(氏名) 濱田 寛明　TEL 0422-26-2600

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,119	12.5	521	52.5	528	77.7	15	△92.8
25年3月期第3四半期	15,218	9.0	341	38.0	297	44.5	212	△25.8

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　77百万円　(△70.3%)　25年3月期第3四半期　260百万円　(21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	2.14	2.13
25年3月期第3四半期	36.58	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,081	4,018	39.6
25年3月期	10,747	4,156	38.6

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　3,995百万円　25年3月期　4,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	10.00	―	30.00	40.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,940	12.5	680	38.5	640	44.8	190	△26.2	26.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 大戸屋(上海)餐飲管理有限公司 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	7,180,000 株	25年3月期	7,180,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	137 株	25年3月期	137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	7,179,863 株	25年3月期3Q	5,799,863 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権の金融緩和をはじめとする経済政策による経済成長への期待から、円安、株高が続き、個人消費の回復、一部ではありますが賃上実施を発表する企業が現れる等、明るい見通しがみられた反面、新興諸国の景気減速懸念等から先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましても、引き続き消費マインドに回復の傾向があるものの、円安の進行に伴う食材価格の高騰による一部商品の値上げや、同業他社や中食業態との競争激化により引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、国内300店舗を達成し、国内・海外合計500店舗体制へ向け、店舗価値のさならる向上を図るべく引き続き、成長のための施策を実施しております。

当第３四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営11店舗、フランチャイズ16店舗を新規に出店し、海外におきましては、直営店を米国ニューヨーク州で１店舗、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店をタイ王国で４店舗、及びインドネシア共和国で２店舗を新規に出店いたしました。その結果、当第３四半期連結累計期間中に合計34店舗を出店、５店舗を閉店したため、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で376店舗（うち国内直営151店舗、国内フランチャイズ152店舗、海外直営11店舗、海外フランチャイズ62店舗）となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は17,119百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益521百万円（同52.5%増）、経常利益528百万円（同77.7%増）となりましたが、国内における既存店舗の改装に係る固定資産除却損23百万円、国内及び海外直営事業において減損損失67百万円及び中国上海市における合弁事業の解消による提携解消損失146百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が289百万円となったため、四半期純利益は15百万円（同92.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」11店舗（田端アスカタワー店、新所沢店、小田急マルシェ相武台店、亀戸駅前店、練馬駅南口店、小田急相模原店、梅田東店、モラージュ菖蒲店、島忠草加舎人店、アリオ市原店、武蔵小山店）の新規出店がありました。また、国内フランチャイズ事業でありました１店舗（イオン茨木店）について国内直営事業とし、２店舗（千歳烏山店、青葉台店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第３四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」149店舗、「おとや」１店舗、「大戸屋ダイニング」１店舗の総計151店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は11,011百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益396百万円（同16.3%増）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」16店舗（湘南モールフィル店、アリオ仙台泉店、ノースポートモール店、福岡飯倉店、イオンモール佐野新都市店、千葉マリンピア店、宮古島店、イオンタウン名西店、大分別府店、モラージュ柏店、佐久平店、デリスクエア今池店、させぼ五番街店、横浜西口南幸店、泡瀬店、長野南店）の新規出店がありましたが、１店舗（田無店）の閉店がありました。また、国内直営事業でありました２店舗（千歳烏山店、青葉台店）について国内フランチャイズ事業とし、１店舗（イオン茨木店）が国内直営事業となりました。

これにより、当第３四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」152店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は4,666百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益659百万円（同22.9%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第３四半期連結会計期間末現在、11店舗（香港大戸屋有限公司が香港に５店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.がシンガポール共和国に３店舗、AMERICA OOTOYA INC.が米国ニューヨーク州に２店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.がタイ王国に１店舗）稼働しておりますが、前連結会計年度に連結子会社であった台灣大戸屋股份有限公司を株式売却により連結除外したため、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,178百万円（前年同期比5.4％減）、営業損失185百万円（同0.8%増）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第３四半期連結会計期間末現在、62店舗（タイ王国において38店舗、台湾において17店舗、インドネシア共和国において５店舗、中国上海市において２店舗）を展開しており、当第３四半期連結累計期間の売上高は229百万円（前年同期比65.2％増）、営業利益78百万円（同64.8％増）となりました。

なお、持分法適用関連会社大戸屋（上海）餐飲管理有限公司（当第３四半期連結会計期間中に連結子会社化）につきましては、当第３四半期連結累計期間において持分法による投資損失20百万円を計上しております。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であり、当第３四半期連結会計期間末現在、株式会社ＯＴＹフィールがメンテナンス事業を、株式会社ＯＴＹ食ライフ研究所が食育事業を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD.（平成25年10月１日付でOOTOYA (THAILAND) CO., LTD.から商号変更）が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第３四半期連結累計期間の売上高は32百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比88.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,002百万円を主なものとして3,466百万円（前連結会計年度末比26.7％減）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産4,186百万円と敷金及び保証金1,707百万円を主なものとして6,614百万円（同9.9％増）であり、資産合計では10,081百万円（同6.2％減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,001百万円、買掛金977百万円及び未払金706百万円を主なものとして3,388百万円（前連結会計年度末比2.5％増）、固定負債は、長期借入金1,328百万円を主なものとして2,674百万円（同18.6％減）であり、負債合計では6,062百万円（同8.0％減）となりました。これは主に、借入金が減少したためであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は4,018百万円（前連結会計年度末比3.3％減）となり、自己資本比率は39.6％となりました。これは主に、利益剰余金が減少したためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、国内外の景況感は引続き厳しい状況が予想されますが、現時点では平成25年12月17日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当社の持分法適用関連会社であった大戸屋（上海）餐飲管理有限公司の全持分を取得いたしました。これにより、平成25年12月31日現在、同社は当社の連結子会社としております。

この結果、平成25年12月31日現在では、当社グループは、当社と連結子会社９社（株式会社大戸屋、株式会社ＯＴＹフィール、株式会社ＯＴＹ食ライフ研究所、香港大戸屋有限公司、OOTOYA ASIAPACIFIC PTE. LTD.、AMERICA OOTOYA INC.、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.、大戸屋（上海）餐飲管理有限公司）により構成されることとなりました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,464,865	2,002,430
売掛金	590,212	708,654
原材料及び貯蔵品	45,601	78,773
その他	629,863	676,292
流動資産合計	4,730,541	3,466,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,519,644	2,796,128
工具、器具及び備品（純額）	918,375	1,112,858
その他（純額）	271,189	277,595
有形固定資産合計	3,709,208	4,186,582
無形固定資産		
のれん	32,081	20,638
その他	71,316	80,509
無形固定資産合計	103,397	101,148
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,607,144	1,707,092
その他	597,166	620,107
貸倒引当金	△19	－
投資その他の資産合計	2,204,291	2,327,200
固定資産合計	6,016,897	6,614,931
資産合計	10,747,439	10,081,082
負債の部		
流動負債		
買掛金	873,144	977,609
短期借入金	10,000	3,083
1年内返済予定の長期借入金	1,015,155	998,308
リース債務	154,232	175,496
未払金	675,189	706,649
未払法人税等	196,841	141,447
賞与引当金	44,164	37,520
店舗閉鎖損失引当金	6,642	2,237
その他	329,124	345,848
流動負債合計	3,304,494	3,388,201
固定負債		
長期借入金	2,051,856	1,328,200
リース債務	364,674	402,771
退職給付引当金	200,404	218,790
資産除去債務	282,742	304,754
その他	387,128	419,564
固定負債合計	3,286,806	2,674,080
負債合計	6,591,300	6,062,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,024	1,465,024
資本剰余金	1,383,224	1,383,224
利益剰余金	1,293,589	1,093,529
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,141,716	3,941,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,825	11,305
為替換算調整勘定	△4,133	42,611
その他の包括利益累計額合計	4,691	53,916
新株予約権	612	1,163
少数株主持分	9,118	22,063
純資産合計	4,156,138	4,018,800
負債純資産合計	10,747,439	10,081,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	15,218,834	17,119,044
売上原価	6,285,879	7,217,337
売上総利益	8,932,954	9,901,706
販売費及び一般管理費	8,591,158	9,380,637
営業利益	341,796	521,068
営業外収益		
受取利息	2,198	1,236
受取配当金	1	471
為替差益	－	29,144
協賛金収入	21,228	29,449
その他	16,243	9,504
営業外収益合計	39,672	69,805
営業外費用		
支払利息	48,092	41,485
為替差損	2,162	－
持分法による投資損失	31,920	20,668
その他	1,969	506
営業外費用合計	84,145	62,660
経常利益	297,323	528,213
特別利益		
段階取得に係る差益	－	14,138
店舗売却益	－	14,438
子会社株式売却益	312,388	－
その他	146	1,180
特別利益合計	312,534	29,756
特別損失		
提携解消損失	－	146,450
固定資産除却損	50,994	23,192
減損損失	37,659	67,704
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8,125	2,237
その他	－	297
特別損失合計	96,779	239,883
税金等調整前四半期純利益	513,078	318,087
法人税等	299,816	289,850
少数株主損益調整前四半期純利益	213,262	28,236
少数株主利益	1,095	12,900
四半期純利益	212,167	15,335

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	213,262	28,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	2,479
為替換算調整勘定	50,230	51,118
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,122	△4,329
その他の包括利益合計	47,697	49,269
四半期包括利益	260,959	77,506
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,997	64,560
少数株主に係る四半期包括利益	962	12,945

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	国内直営事業	国内フランチャイズ事業	海外直営事業	海外フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	9,958,866	3,857,704	1,245,762	139,104	15,201,437	17,396	15,218,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	187,486	187,486
計	9,958,866	3,857,704	1,245,762	139,104	15,201,437	204,882	15,406,320
セグメント利益又は損失(△)	340,505	537,049	△183,884	47,765	741,435	16,099	757,535

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	741,435
「その他」の区分の利益	16,099
セグメント間取引消去	△38,370
全社費用(注)	△377,368
四半期連結損益計算書の営業利益	341,796

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの資産に関する情報

第２四半期連結会計期間において、連結子会社であった台灣大戸屋股份有限公司の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」及び「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において、それぞれ、12,283千円及び25,376千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、食育事業に関する事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、28,000千円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	国内直営事業	国内フランチャイズ事業	海外直営事業	海外フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,011,744	4,666,349	1,178,392	229,777	17,086,264	32,779	17,119,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	232,219	232,219
計	11,011,744	4,666,349	1,178,392	229,777	17,086,264	264,999	17,351,263
セグメント利益又は損失(△)	396,052	659,863	△185,374	78,728	949,271	24,466	973,738

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	949,271
「その他」の区分の利益	24,466
セグメント間取引消去	△65,816
全社費用(注)	△386,853
四半期連結損益計算書の営業利益	521,068

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「国内直営事業」及び「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において、それぞれ、8,419千円及び59,284千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。